

YREP 研修

所属 森林生物化学研究室

学年・氏名 修士 2 年・和田卓

サンノゼ州立大学アメリカ英語研究所（SAL）

私は 2010 年 10/4～10/29 の約 1 ヶ月間 YREP というアメリカのカリフォルニア州サンノゼで行われる英語研修プログラムに参加しました。YREP は、大学院生などが国際学会などで発表を行う際に必要な英語コミュニケーション能力を身につけるために、九州大学カリフォルニアオフィスが提供するプログラムです。卒業後は就職を考えていた私は、社会に出る前に英語能力向上と異文化交流を目的に軽い気持ちで参加しましたが、結果的に自分の進路に大きく影響するものとなりました。

研修では月曜～木曜にサンノゼ州立大学アメリカ英語研究所（SAL）に授業があり、金曜はフィールドトリップでシリコンバレーの大学や企業に訪問しました。

授業では主に、英語での論文作成に必要な「作文技術」と国際学会での発表で不可欠な「プレゼンテーション技術」の 2 つに力が入れられており、短い研修期間でしたがとても内容の濃いものでした。

また、フィールドトリップではスタンフォード大学、UC バークレー、Google、IBM などを訪問し、そこにいる研究者や専門家との交流が行われました。フィールドトリップの目的は世界トップの大学や企業が日本とはどう違うかを体験するためのもので、実際そこにいる人達は自分のやっていることに自信をもっており、そこでの研究や仕事を楽しんでいる人達ばかりでした。

このプログラムには他にも 10 数名日本人参加者がおり、一緒に授業を受けたりしました。私が今回の研修で一番影響をうけたのは、一緒に行った日本の学生の姿勢でした。特にドクターコースの人は、将来的に今回訪問したようなトップの大学や企業で働きたいと考えおり、その人が自分とほとんど変わらない英語能力で、向こうの研究者と対等に話している姿を見て、日本の研究者も負けてないなと感動し、ドクターも良いなと思うようになりました。ただ、そのせいで進路に迷うようになりました...良い意味で（笑）。